

圧力機器指令 (Pressure Equipment Directive) 97/23/EC の概要

完全実施日：2002年5月29日

適用範囲 (第 1 条 1 項):

最大許容圧力 PS が 0.5 bar を越える圧力機器 (容器、配管、それらの組立品及びアクセサリ) に適用される。

「最大許容圧力 PS」製造者によって特定される、装置が設計された最大圧力を意味する。

非対象機器 (第 1 条 3 項):

パイプライン専用の配管、附属装置

導水路の関連機器

圧力が重要な設計要素ではない機器

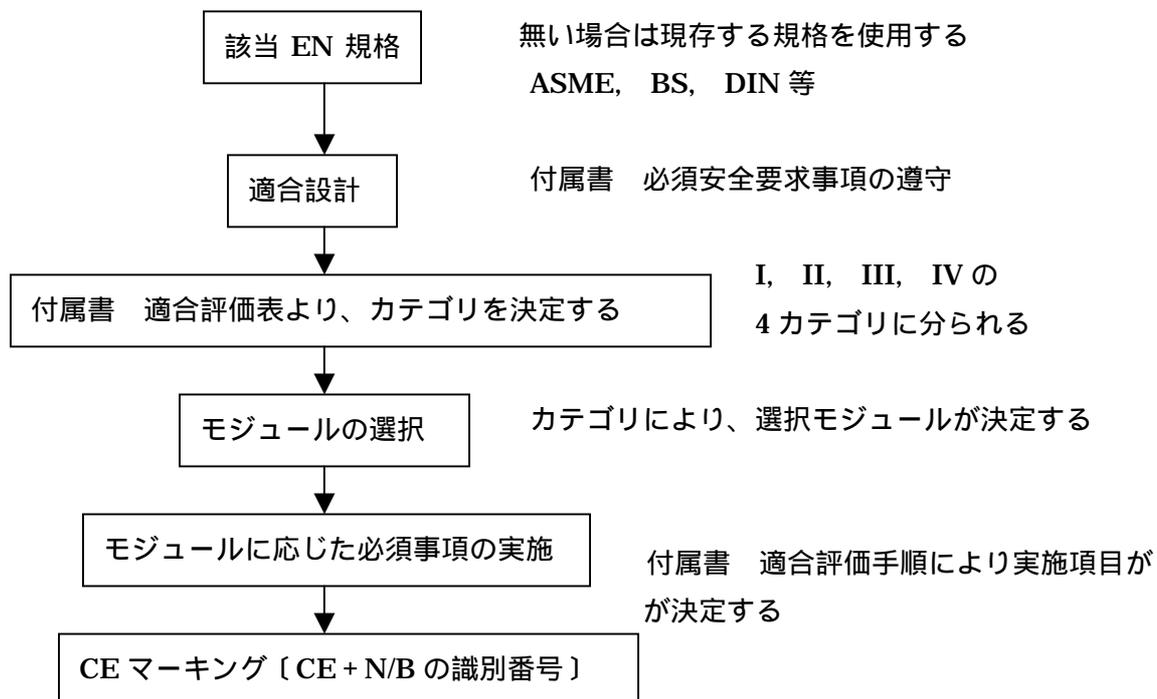
例えば、タービン、エンジン、コンプレッサー、ポンプ

フレキシブルケーシングからなる圧力機器

例えば、タイヤ

最終消費用の炭酸飲料水用ボトルやカン

CE マーキング貼付までのプロセス



カテゴリの決定要素

流体の分類 グループは 1 か 2 か？

PS (最大許容圧力): bar V (容量): リットル、配管公称サイズ : DN

PS · V または PS · DN により決定

グループ 1 :

爆発性がある、可燃性が高い、毒性が高い、酸化

グループ 2 :

グループ 1 以外の全ての流体

モジュールの選択

カテゴリ	モジュール				
	A				
	A1	D1	E1		
	B1 + D	B1 + F	B + E	B + C1	H
	B + D	B + F	G	H1	

カテゴリが決まり、その結果モジュールの選択、何が違ってくるのか？

品質システムの認証取得が必要とか、

完成品の検査が全数、ランダム、抜き取り、自主、EC の型式試験が必要とか、決定する。

モジュールの説明

モジュール A 内部生産管理

モジュール A1 最終評価での監視を伴う内部製造チェック

モジュール B EC 型式試験

モジュール B 1 EC 設計検証

モジュール C 1 型式への適合

モジュール D 生産品質保証

モジュール D 1 生産品質保証

モジュール E 製品品質保証

モジュール E 1 製品品質保証

モジュール F 製品確認

モジュール G EC ユニット確認

モジュール H 完全品質保証

モジュール H 1 設計検証を伴う完全品質保証及び最終評価の特別監査